

なりぐさ 同 夜白いろぐさ同、たゞしこ 山たち花是一説也、いしのうへなどにあり、

〔藏玉和歌集夏〕不加見草 牡丹此花さく日數廿日也、

名ばかりは咲ても草のふかみ草花の比とはいかだみてまし○中

名取草 牡丹

折顯仲歌人のこゝろなしとやなとり草花みる時はとがもすくなし

むかしある女此花を愛して、おほくうへおきて、晝は終日ながめくらし、夜は終夜風に可損事を歎きけるによりて、男他心ありとて離別しけり、答なきよし聞ひらきて、もとのごとく

すみけるとなん、仍名取草と號、

〔梅花無盡藏〕尾州中島府中總社大明神化縁疏并序中島郡名也○中略

支那之一百五紅者一百五日開牡丹名也 則敷島之二十日草也本邦曰牡丹、域二而其揆一乎、

〔大和本草花七〕牡丹 中華ニテ花王ト稱シ、花ノ富貴ナル者トス、中華ニ洛陽ノ牡丹ヲ名産トス、

日本ニ上代ハイマダ牡丹ナカリシニヤ、萬葉古今集等ニハ詠ゼズ、詞花集ニ新院崇徳院位ニヲ

ハシマシ、トキ牡丹ヲヨマセ給ヒケルニヨミハベリケル、關白太政大臣藤忠通咲シヨリチリ

ハツルマデ見シ程ニ花ノモトニテハツカヘニケリ、倭名フカミ草、又ハツカ草ト云、此花凡二十

日アリト云、古ハ左ホド賞翫モナカリシニヤ、歌人ノ詠多カラズ、中華ニモ神農本草ニ牡丹ヲノ

セタリ、上代ヨリアレドモ只藥ニ用ユ、其花ヲ賞スル事、唐ヨリ以前ハマレナリ、鶴林玉露曰、牡丹

自唐以前未有聞、至武后時、樵夫探山乃得之、トイヘリ、中華ニモ唐以前牡丹ノ好花ハナカリシニ

ヤ、文士ノ詠作ナシ、日本ニテ古代賞翫ナキコトムベナリ、古代ニ牡丹アリトモ、今ノ艷麗ナル花

ハ未可有、牡丹、芍藥、躑躅、山茶、百合等、人ノ好ミ盛ナルニヨツテ好花イデキテ、變態百出スルハ近

年ノ事也、今又冬牡丹アリ、八月ヨリ葉出テ十月ヨリ花サク、臘寒ノ時モ花アリ、凡如此ナルハ、人